

第137号

2013 ティータイム通信

12

発行／
建築許可(般-22)16806号
(財)住宅保証機構登録店
株式会社みのりホーム
松山市福音寺町43番地1
Tel 089-976-0047
[HP] [みのりホーム](#) [検索]
[E-mail] minori@minori-group.com

一级建築士事務所 第3021号
日本改修産業協会 正会員
K 株式会社 粟田工務店
松山市福音寺町42番地6
Tel 089-993-7555
[HP] [粟田工務店](#) [検索]
[E-mail] kurita39@lilac.ocn.ne.jp

みのり商会・みのりホーム
会長・栗田工務店 社長 寺川 信一
みのりホーム 会長・栗田工務店 社長 寺川 勲雄

無添加住宅見学会

12/7土・8日

10:00～17:00(雨天決行)

今回もお客様のご厚意により、松山市山越の様邸で無添加住宅の完成見学会を行わせて頂きます。
無添加住宅ならではの天然素材で造り上げた様邸は、ご家族の思いが込められた見どころ満載の家になっていきます。この機会をお見逃しのないよう、お気軽にお越し下さい。

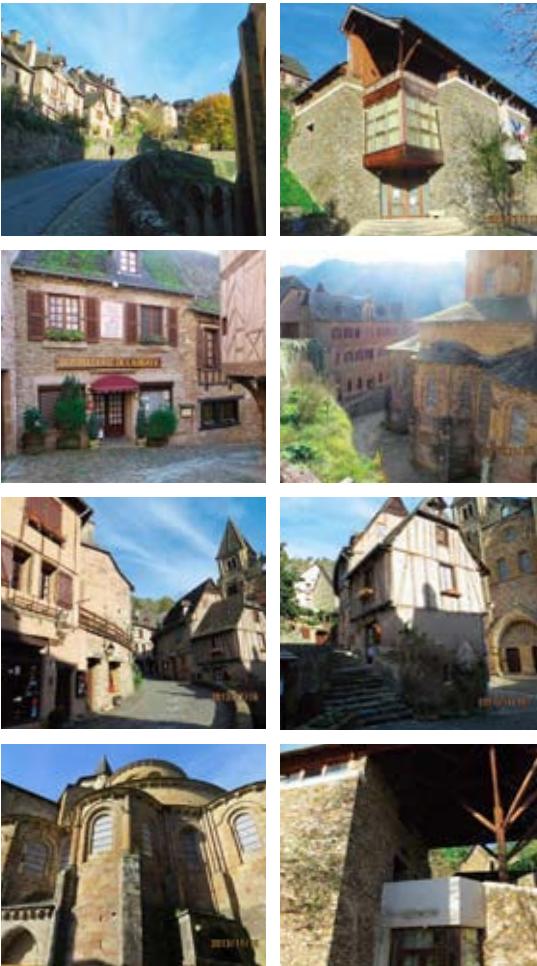
今回の見所ポイント！

- *開放感のある吹抜けとリビング階段。
- *ゆったりとしたスペースに本物の御影石で作ったバックカウンターのあるキッチン。
- *たっぷり玄関土間収納。
- *小窓のある大きな屋根裏収納。

他にもたくさんの見どころがあります。
ぜひ現地でご確認してみて下さい。



無添加住宅のルーツをたずねて～フランスの古い町並み～



先日、無添加住宅の原点を見て体感するため、フランスに行つきました。

何故フランスが原点なのか？と申しますと、無添加住宅の秋田社長が20年近く前にヨーロッパを旅した際に、偶然訪れた山間の町で、石屋根と漆喰の築数百年経っても美しく住みつがれている町並みに感動し、こんな家を日本でも建てたいと決意したことが、今の無添加住宅の始まりだからです。

写真等では見て知っているつもりでしたが、実際に現物を見ると、その古くて美しい町並みには圧倒されました。

いくつかの町を見学しましたが、一番感動したのは、カンパンという山の中の小さな村です。そこで実際に住んでいる家の中を見せていただく事が出来ました。正確な築年数はわかりませんが、200年以上は経っている家を、自分たちの手で改装しながら住んでいます。また、この村を案内してくれたおばあちゃんが、「また遊びにいらっしゃい。ここは何年先に来たって同じ風景だから」とおっしゃっていました。その言葉には、この美しい町並みを誇りに思っている事が強く感じられました。

統計では、日本の住宅の建て替え寿命は30数年だそうです。乱暴な言い方をすれば、古くなるとゴミになる家と、古くなるとアンティークになる家の違いを感じることができました。そして、今の私たちの家づくりの方向が間違っていないということを、再認識できた有意義な視察になりました。



みのり 知恵袋通信

こちらのコーナーでは毎月、生活に役立つ
ちょっとした小ネタをご紹介していきます

●第27弾は“乾燥シーズン到来”

冬場は寒さだけでなく、乾燥にも注意が必要です。人間は、乾きに無頓着で水分が足らないという実感がないのです。また寒くなると、体の水分が足りなくなつても、意外と水を飲みたいという気が起こらないようです。しかし、唇や口の周りなどがかさかさと乾燥してから、意識して水分を補給しましょう。

水分補給は水が一番です。アルコールやコーヒーでは余計に体が乾き、お茶の成分カフェインには利尿作用があり、体外に流れてしまします。

水の飲み方にもコツがあります。ガブガブ飲まず、ちよびちよびとこめに補給しましょう。

体がうるおっているほど冷えの影響を受けにくくなり、寒さに対して強くなります。

上手な水分補給で、乾燥するこの季節を乗りきりましょう。



やわらぎ便り—介護の現場から—

グループホーム枝松スタッフ
谷口 まゆみ

グループホームでは、利用者さんに家庭的な雰囲気の中で、出来る人には一定の役割を持ってもらい落ち着いた生活を送ってもらうことにしています。

これは認知症の進行を穏やかにするという目的があります。でも、時々その「一定の役割」とは、誰のためにあるのか、疑問に感じる時があって自問自答しています。

我々スタッフは、利用者さんに「役割を持ってもらった」事だけに満足していないだろうか?

本人は「やらされている」と思っていないだろうか?

これはいつも私の頭の片隅にあって、その方に「役割」をお願いするときに、私自信に対する問いかけです。

利用者さんの心向きに敏感でいたい、日々どういうかかわり方をしようかと考えていたとき、クリスチーン・ボーデンさんの言葉の一節が心に響きました。

「ゆっくりとスピードを落として、目を見つめて話して下さい。私たちの思っていることを理解して、ケアの環境を変えて下さい。」

この言葉にすべてが集約されていると感じています。介護の仕事に悩んだり、迷ったときは、この言葉を思い出しながらコツコツと毎日の仕事に励んでいこうと思っています。



今月の栗田工務店ビフォーアフター
Before→After

浴室工事完成!!

施工前 Before



施工後 After



在来タイル張の浴室だった為、脱衣室との間に段差がありました。保温性・清掃性に優れているユニットバスにリフォームし、段差も解消されました。既設窓アタッチメントを使用する事で、既存の窓をそのまま利用してユニットバスに改装!!

既設窓を利用することで、窓廻りの補修工事が発生しないので工期を短縮することができ、費用も抑える事ができます。

安心・安全・快適リフォーム! 施工例 松山市I様邸

施工前 Before



施工後 After



●お問合せは

株式会社栗田工務店
0120-70-1516
担当:栗野百合江

Y様邸無添加住宅

エイッ！エイッ！エイッ！



松山市石手で新たに着工する「Y様邸無添加住宅」の地鎮祭が執り行われました。Y様ご家族の想いが詰まったマイホーム。いよいよ着工です。

12月下旬には上棟し、来年の3月に完成予定です。完成が楽しみです。

来年3月完成予定のI様邸の地鎮祭が終わりました。お子様も気合を入れて鍤入れの義をしています。エイッ！エイッ！エイッ！私も負けられません。エイッ！エイッ！エイッ！これからもI様ご家族と沢山の楽しい思い出を作ろうと思います。

今月のひとコマ

平成25年11月13日・14日に広島県で行われました、第一回大工エキスパートJBNマスターズ大会にみのりホームの石井(20歳)が出場しました。

日本全国から45名の大工が参加し、その中でも最年少の石井が、真剣に四方転びという技法を取り入れた脚立を

造りました。

結果、優勝を逃したものの、これからの成長が頼もしく感じられる姿でした。若手の大工は貴重な存在です。これからも石井をよろしくお願いします。



が高くなってしまうこともありますので、建物の解体はタイミングが非常に大切です。

なじみの無いようで生活と密接に関係する不動産。大きな資産であるこの不動産をお客様にとってベストなものにすることは、お客様はもちろん、地域にとっても非常に意義あるものだと思います。



今年もお客様の御厚情を賜り、年末を迎えることができました。厚く御礼申し上げますとともに、良い御年をお迎えになられますよう、お祈り申し上げます。

みのり商会・みのりホーム 代表取締役社長 寺川 信一

社長のつぶやき

不動産にはさまざまな税金があります。登録免許税、不動産取得税、固定資産税、不動産譲渡所得税、住宅ローン控除など、贈与税や相続税にも深く関係してきます。不動産を日常的に売買される方は少ないので、税金に関して知っている方あまり多くないのではないでしょうか。

例えば、2010年にマイホームから転居した人が、元のマイホームを売却すれば居住用財産譲渡の3000万円特別控除が使え、売却益3000万円まで非課税です。住まなくなつた日から3年経過する年の12月末までの売却なら居住用特例が使えるからです。しかし、建物を取り壊してしまうと、3年より短くなることがあります、更に固定資産税